

湯村温泉に特徴的サービスの宿泊施設

ターゲットは個人客

新設計の湯村温泉は、個人客向けのサービスに力を入れた宿泊施設が揃っている。ワーケーションの受け入れや地味な飲食店の活性化を促すだけでなく、顧客のニーズにきめ細かく対応し、かつての主力だった団体客が減少しており、特徴的なサービスを企画し打ち出しを競い合っている。(編集部)

団体減少、一人一人のニーズにきめ細かく対応



ロビーに入ると、隣にいたいさひ温泉はる草木が宿泊客を出迎える。4月1日に開業したばかりの旅館湯村温泉は、落ち着いた雰囲気に包まれる。2016年に開業した老舗旅館の建物を改装した。内装の肌、いすは木を加工して作られた。湯村温泉本部長は「館内のインテリアはほぼ全て売れ物で教えた。いずれも、気に入った雑貨を購入できるサイトに誘導するQRコードのシールが貼られている」。

客室は、室内にミニ庭園を配した総ひのき造りのプレミアムルーム(約52平方メートル)▽家族向けのファミリールーム(約50平方メートル)▽出張や友人同士の旅行などを想定した温泉のスタンダードツイン▽和洋折衷のスイートインの4種類で計10室を備える。同じ切り株を素材には、世界有数の職師、石原和幸さんが監修した松やコケ、石灯籠などを配した日本庭園がある。

④ワーケーションの利用を見込んだスペースもいずれも湯村温泉
⑤直株の石原和幸さんが監修した庭園を景観し切り株を素材に
⑥ミニ庭園があるプレミアム



選ばれる宿へ工夫重

室内に庭園、コース形式の朝食…